

# 大平台

米沢小学校だより 第 6 号

## 台風15号

9月9日未明に上陸した台風15号は、千葉県各地に甚大な被害をもたらしました。

米沢小学校の被害は、体育館の屋根の一部損壊、ビオトープの垣根倒壊、樹木の枝折れや倒木で、幸いにも大きな被害はありませんでした。しかし、停電と断水のため教育課程の変更せざるを得ない状況となりました。急の変更にもかかわらずご理解いただきまして大変ありがとうございました。そればかりか、学校に来た保護者の方から、「学校も大変でしたね。」とねぎらいの言葉をたくさんかけていただき大変うれしく思いました。

また、14日に予定されていた運動会が開催できるか大変心配でした。台風が去った翌日から気温がぐんぐん上昇し練習が思うようにできないとともに、電気の復旧がいつになるか全く見通しが立っていなかったからです。しかし、12日夜に学校の電気が復旧したため、米沢保育所や保護者の皆様の協力のもと、予定通り運動会を開催することになりました。しかし、問題もありました。米沢地区には、まだ電気が復旧していない地区があったのです。次の文は、米沢地区の電気が全て復旧した18日夜に椿会長から私にきたLINE（ライン）の文書です。

こんばんは。

先日はお疲れ様でした。

さきほど古原の一部停電区域が復旧しました。雨の中30人の自衛隊が伐採作業してくれたり、群馬県から来た関電工さんが作業してくれました。うれしくてお茶とパンいっぱい買って千春とありがとうと言って配り回りました。

運動会が終わってから、本当に長かった。運動会は延期にした方がよかったのかと毎日心の中で葛藤していました。

普通の生活ができることがとても幸せなんだと思います。

【椿会長掲載許可済み】



このLINEを読んで私は2つのことを思いました。

一つ目は、責任感です。

運動会のお楽しみの一つは、家族そろってのお昼の時間。電気が復旧していない家庭にとって、お弁当をどうしようかと困ったことかと思えます。このことが分かっているながらの開催に、私も椿会長も心を痛めておりました。延期したほうがよかったのかと葛藤している椿会長の責任感の強さを感じました。

二つ目は、やさしさです。

今回の台風は、被害が大変大きかったため、全国から電気作業員の方が復旧作業の応援に駆けつけてくれました。しかし、復旧が遅れ、電気が使えない家庭では、不安やいらだちがつのったことでしょう。電気作業員の中には、このぶつけどころのない不安やいらだちを心ない言葉として浴びることも珍しくなかったと聞きます。そんな中での、椿会長の行動は、自衛隊や作業員の方たちに大変嬉しいものになったはずで

台風15号は神崎町にも甚大な被害をもたらしていききました。被害に遭われた皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。